

編 集 後 記

2013年の秋、世界的に有名な旅行ガイドの出版社ロンリープラネットが、「ベスト・イン・トラベル 2014」のランキングを発表し、北陸が世界4位に選ばれました。中でも金沢が目すべき観光地として言及されており、2015年春の北陸新幹線開業で金沢への交流人口増加が期待されているなか絶好の追い風が吹きましたが、今年度の「星稜論苑」には、観光学を専門としている研究者による、英文ガイドブックの中の金沢（石川）の紹介のされ方の歴史的推移が子細に調べられた論文が掲載されております。

また2013年度は、スポーツの分野で星稜の学園に勇気と希望を与えるニュースも相次ぎました。高校野球部OBの松井秀喜さんの国民栄誉賞受賞、高校サッカー部OBの本田圭佑選手のワールドカップ出場を決定づけた豪州戦のペナルティキック、高校野球部の6年ぶりの甲子園出場、高校サッカー部の全国高等学校サッカー選手権大会での準優勝、本田選手のエース背番号を担ってのACミラン入りなどなど。本論文集にはまた、長年星稜高校野球部の部長として、さらには副校長として高校の発展に寄与された教育者の教育の成果発表も含まれております。

学園内外の動向にもこのように呼応する形で様々な研究成果が織り込まれた「星稜論苑」第42号を世に送り出すことができたことを、大変喜びに感じます。

辻 建一